

平成
26
年度みゃーくワイダーTV Web・
デジタルサイネージ配信事業企 業
データ

宮古テレビ株式会社

■所在地:〒906-0007 沖縄県宮古島市平良字東仲根968-9 ■代表者名:代表取締役社長 玉城 篤
 ■TEL:0980-72-3859 ■FAX:0980-73-3885 ■URL:http://www.miyako-net.ne.jp/
 ■設立年:昭和52年 ■資本金額:4,660万円 ■従業員数:50人 ■業種:放送業



代表取締役社長 玉城 篤

経 緯

宮古テレビは昭和52年6月設立。昭和53年5月、宮古島市(旧平良市)の中心部をサービスエリアとするケーブルテレビ放送局として開局。民放キー局の番組をVTRによる異時再送信で放送するとともに自主制作の報道番組や行政情報の配信などを行ってきた。

その後、宮古島全域と、伊良部島、池間島、来間島、多良間島などへサービスエリアを拡大してきたが、平成5年12月に沖縄県の民法2局が中継局を開設し地上波で視聴出来るようになった。また近年では、インターネットやフリーペーパーなどメディアの多様化が進み、島内マスメディアとしての役割の他に島外をターゲットとした、新規事業の開拓が課題となっていた。

こうした中、「宮古島観光情報をもっと手軽な料金で全国に発信できないか」という地元企業からの声を受け本事業を活用し、これまで培った映像編集技術とITを利用してビジネスエリアの拡張を図ることにした。

事業内容

これまで当社のホームページにおいて地元企業の情報を発信していたが閲覧数の格差が生じていた。そこで5年前、屋外・店頭・公共施設などに液晶ディスプレイを設置して広告や情報案内を表示する「デジタルサイネージ」を島内のショッピングセンターなどに設置した。この実績を活かし、地元の特産物の販路拡大と観光PRを目的に本事業を活用して県外4カ所に機械を設置。沖縄県の観光情報を配信している。

また、ドローンの導入で、景勝地など宮古島の魅力をダイナミックな映像で撮影出来るようになった。

さらにライブカメラ3台を導入し、24時間宮古島の映像を全世界へ配信することができた。



デジタルサイネージにて宮古情報を発信

成 果

ドローンによる空撮映像をデジタルサイネージなどで配信出来るようになった。

ライブカメラのアクセス数は1台につき1日100件のアクセスがあり、海外からメッセージも寄せられている。

デジタルサイネージは、沖縄に興味のある人が集まる県外の「わたしたちのショップ」に設置することで、ターゲットを絞った情報配信を行っている。これにより低価格で宮古島企業の情報を県外の人々に配信することが可能となり、買い物客から「この映像はどこですか?」といった反応も得ている。また、WEBを活用し手早くコンテンツ情報を更新できるようになった。



ダイナミックな映像撮影が可能になったドローン



高画質化を実現した4Kカメラも導入

今後の展望

ドローン撮影・ライブカメラ配信・デジタルサイネージ事業とともにシステムは良好に可動している。今後はサイネージの設置箇所を県外のスポーツクラブや琉球居酒屋などに広げるとともに、中国や台湾など国外へも設置しビジネスエリアを拡大していく予定である。